

専門分野 地域・在宅看護論 授業計画

授業科目及び時間数	地域で生活する人々の環境と看護 1単位 30時間		
開講時期	2年次 前期		
担当教員	大畑浩美	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>在宅の環境は個別性に富む。療養者の疾患や障害も多様であり、療養者と家族の生活様式もさまざまである。こうした療養者と家族の個別性を尊重しながら、生命活動、生活活動、そして社会活動を可能にするような働きかけが必要となる。まずは、人の生活を中心とした環境の変化を捉え、環境と人の生活との相互作用や、環境が人の生活と健康に与える影響とその対策について学習を深める。地域の調査を通し地域の特性と人々の健康について探求する。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人の生活にかかわる環境の変化について説明できる。 2. 生活環境が人の健康に与える影響と支援を具体的な例を通して説明できる。 3. 調査から課題をみつけ、解決に向けて提案ができる。 			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 地域（静岡市）の健康、福祉について （健康な暮らしと環境/オリエンテーション）	講義・演習	
2回目	健康と環境のアセスメント<調査準備>	講義・演習	
3回目	健康と環境についてのフィールド調査	演習	
4回目	健康と環境についてのフィールド調査	演習	
5回目	健康と環境についてのフィールド調査	演習	
6回目	フィールド調査、内容の検討、 関係者機関に交渉しつつ内容の調整充実	講義・演習	
7回目	地域の健康支援を学ぶ 調査する関係者機関に交渉しつつ内容の調整	講義・演習	
8回目	健康支援の実際（現場）	演習	
9回目	健康支援の実際（現場）	演習	
10回目	健康支援の実際（現場）	演習	
11回目	健康支援の実際（現場）	演習	
12回目	課題の探求	演習	
13回目	健康支援の実際（現場）	演習	
14回目	まとめ	演習	
15回目	地域（静岡市）にまなぶ健康支援の実際とより健康な生活に向けての提案（プレゼン）	プレゼンテーション	
評価方法	パフォーマンス評価（70%）レポート（30%）		
受講生に対するメッセージ	講義・演習を含む科目であり、グループワークが中心となる。外部施設に出向き体験をする内容なので、その場、状況に応じた身なり、言葉遣い、学習姿勢で臨んでほしい。さらに、この演習の取り組み態度評価にピア評価を取り入れていく。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 在宅看護論 医学書院		
参考書	ナーシンググラフィカ在宅看護論②在宅療養を支える技術 メディカ出版		